

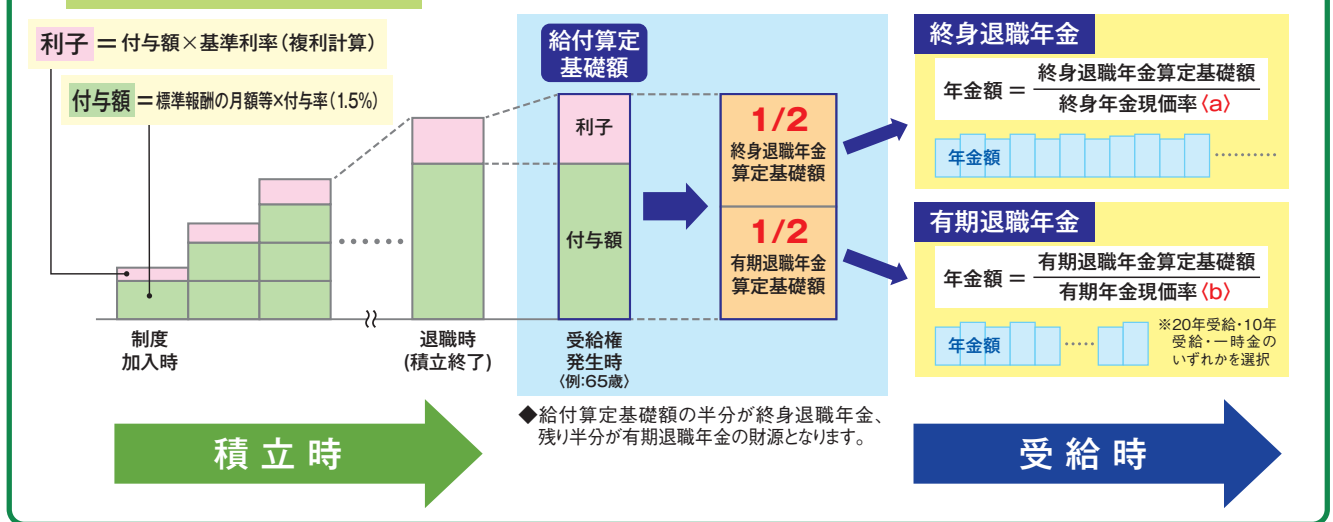
令和2年10月からの退職等年金給付の「基準利率」・「年金現価率」について



退職等年金給付の「基準利率」(毎月の付与額に付与される利子を計算する利率)は、国債の利回り等を勘案して毎年9月末までに見直し、10月から翌年9月までの間、適用されます。令和元年度における10年国債応募者利回りの動向をみると、直近1年の平均利回りが「△0.1031%」となり、直近5年の平均利回りが「0.0611%」となりました。「基準利率」は、これらの平均利回りのうち低いほうを使用することとされているため、「年利△0.10%」となるところですが、財務省令の規定により「基準利率は零を下回らないもの」とされていることから、**令和2年10月からは0.00%**(現在は0.06%)になります。(過去には、平成29年10月から平成30年9月までの間も0.00%でした。)

また、基準利率の変更に伴い、「年金現価率」(給付算定基礎額を年金額に換算するための率)も同様に毎年9月までに見直し、10月から翌年9月までの間、適用されます。

[退職等年金給付制度]



■基準利率・年金現価率(現行・令和2年10月～)

		令和元年10月～ 令和2年9月	令和2年10月～ 令和3年9月
基準利率		0.06%	0.00%
年金現価率	終身年金現価率 (a)	65歳	22.851867
		75歳	14.695827
	有期年金現価率 (b)	240月	19.879521
		120月	9.969571
(参考)保険料率・付与率		1.5% (平成27年10月～令和6年3月(予定))	

※1. 具体的な基準利率、終身・有期年金現価率及び保険料率(掛金率+負担金率)・付与率は、連合会の定款で定めています。

※2. 年金現価率は、給付算定基礎額を終身、20年又は10年に分割して1年分の年金額を算定するための数値ですが、その間の利子分も考慮して設定されます。主な年金現価率を左記に記載していますが、終身年金現価率の年齢別、有期年金現価率の支給残月数別の詳細については、KKRホームページをご覧ください。

▶ [kkk基準利率](#) [検索](#)

モデル年金額

加入から年金受給までの全期間の基準利率が**0.00%**である場合の年金額(月額)

前提条件 ●平均標準報酬月額:40.5万円 ●加入期間:40年(20歳から60歳まで、平成27年10月以降の期間)
●受給開始:65歳

●モデル給付算定基礎額 : 3,843,576円

●モデル年金月額(65歳時点) : A+B(ただし、有期退職一時金の受給は1回限り)

①終身退職年金

6,950円

+

②有期退職年金

20年の受給期間を選択 8,008円
10年の受給期間を選択 16,016円

=

①+②

(20年) 14,958円
(10年) 22,966円

有期退職一時金を選択 1,921,800円

1,928,750円